

令和7年11月28日
玖 珠 糧 食 班

食器洗淨及び清掃作業の部外委託に関する 陸上自衛隊玖珠駐屯地仕様書

玖珠駐屯地業務隊

文書管理者：玖珠駐屯地業務隊総務科長
作成年月日：7.11.10
保存期間：1年（9.3.31まで保存）
枚数：13枚

仕 様 書

調達要求番号：

陸上自衛隊玖珠駐屯地仕様書		
物品番号	仕様書番号	
食器洗浄及び清掃作業部外委託	作成	令和7年11月27日
	変更	令和 年 月 日
	作成部隊等名	玖珠駐屯地業務隊

1 総 則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊の玖珠駐屯地（以下「官側」という。）食堂において実施する食器洗浄作業、食堂清掃作業などの部外委託について規定する。

1.2 用語の定義

この仕様書で使用する用語の定義は、次に定めるところによる。

- a) **契約担当官**
食器洗浄及び清掃作業の部外委託に係わる契約を締結する者
- b) **検査官**
契約担当官の任命を受けて、補助者として食器洗浄及び清掃作業の部外委託に係わる契約履行の適否の検査を行う者
- c) **監督官**
契約担当官の任命を受けて、補助者として食器洗浄及び清掃作業の部外委託に係わる契約履行の過程における監督を行う者
- d) **受託者**
食器洗浄及び清掃作業の部外委託契約を請け負う者
- e) **作業従事者**
この役務に直接従事する者
- f) **現場責任者**
作業現場における一切の責任を有し、作業従事者の管理、技術指導、官側との交渉等に従事する者

1.3 本委託業務の概要

官側の施設、器材を使用して、食器・配食缶類の洗浄、食堂（事務室、厨房及び糧食倉庫を除く。）の清掃及びこれらに付随する作業、並びに作業量の減少に伴う付加作業を行うものである。

駐屯地において、洗浄する食器・食缶類の標準的な種類及び数量は表1のとおりであるが、災害等の不測事態、訓練等により食数の増減、喫食時間の変更をする場合があり、受託者は官側との調整により柔軟に対応するものとする。

2 役務に関する要求

2.1 作業の条件

2.1.1 受託者の作業条件

受託者の作業条件は、次による。

- a) 日々の作業において、現場責任者を1名配置するものとし、官側が示す予定喫食者数等に応じ、別紙第1「令和6年度における食数予定及び作業に必要な従事者数の参考値」及び別紙第2「玖珠駐屯地幹部・曹士食堂における食器洗浄人員の配置」を基準として、本委託業務を完成するために必要な作業従事者の数を官側と協議の上、自らの判断で算定し、示された時期までに作業従事者勤務割振表を提出し、官側の同意を得ることとする。この際、作業従事者勤務割振表に同意が得られなかった場合、官側は改善を勧告する。
- b) 作業従事者については、身元保証が確実なことを確認した上で編成するとともに、事故防止、秘密保全その他関係法令などを厳守するものとする。

- c) 受託者の経費負担は、次のとおりとし、作業に必要な消耗品等は業務の受託中不足がないよう準備するものとする。
- 1) 作業用被服類，食器洗浄及び食堂清掃などの作業に必要な消耗品
 - 2) 保健衛生用消耗品
 - 3) その他，官側の準備するもの以外全て
別紙第3「（食器洗浄及び清掃作業）年間を通じて必要となる消耗品のリスト（基準）」
- d) 器材などの使用に当たっては，次の事項を遵守するものとする。
- 1) 安全に万全を期す。
 - 2) 作業従事者自らが器材などを使用して負傷した場合は受託者の責任と費用負担において処置をするものとする。
 - 3) 使用前の安全点検，使用後の点検・手入れによって，器材の故障を未然に防止する。
なお，施設及び器材などの維持，修理は原則として官側の負担とする。
- e) 本役務の実施に伴い，故意又は過失によって施設又は器材などに損害を与えた場合は，速やかに監督官又は検査官に報告するとともに，受託者の責任において速やかに現状に復旧するものとする。
- f) 使用する施設及び器材などは，本業務以外に使用してはならない。

2.1.2 作業従事者の服務

作業従事者の玖珠駐屯地内における一般的な遵守事項は，隊員に準ずるものとする。

2.1.3 作業従事者の作業条件

作業従事者の作業条件は，次による。

- a) 日本国籍を持ち，心身ともに作業に支障のない者。
- b) 現場責任者は，勤務時間中，常時青腕章などを装着し，所在を明確にする。

2.2 作業の内容

2.2.1 食器・配食缶類の洗浄及びこれに付随する作業

- a) 喫食後の食器類を食器洗浄機，洗剤などを使用して洗浄し，食器かごなどに分類・整理して収納の上，指定の場所に格納する。この際，食器かご及び食器消毒保管庫などの保管器材が汚れている場合は洗浄・手入れする。
- b) 配食後の食缶類を水槽，洗剤などを使用して洗浄し，指定の場所に格納する。この際，保管棚などの保管容器が汚れている場合は洗浄・手入れする。
- c) 食器洗浄機，水槽，その他洗浄に使用した器材・用具は，使用後に洗浄・手入れし，指定の場所に格納する。
- d) 作業終了後，食器洗浄室を清掃する。

2.2.2 食堂（事務室，厨房及び糧食保管庫を除く。）の清掃及びこれに付随する作業

- a) 喫食終了後，食卓，椅子，食卓備付品などを雑巾又は布巾を使用して清掃する。
- b) 喫食終了後，食堂の床，ドアなどを清掃器材・用具を使用して清掃する。特に汚れている箇所は水洗いする。
- c) 作業終了後，清掃器材・用具を手入れし，指定の場所に格納する。

2.3 作業量

2.3.1 洗浄する食器・食缶類の種類及び数量は，表1を基準とする。

表 1

月							
種 類		作業区分					
		1 日当たりの平均予定数量					
		平日			休日		
		朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食
	汁 わ ん	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	菜 皿 又 は 洋 皿	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	小 皿	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	小 鉢	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	井	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	カ レ ー 皿	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	楕 円 仕 切 皿	180 個	一 個	一 個	一 個	一 個	一 個
	湯 の み	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	ミ ル ク コ ッ プ	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	盆	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	は し	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	ス プ ー ン	180 個	210 個	150 個	一 個	80 個	90 個
	食 器 カ ゴ	15 個	17 個	11 個	一 個	12 個	11 個
注 記		1 カレー皿、井等を使用した場合は飯わんを、それぞれ相当量減ずる。 2 休日の朝食作業は、官側が示す事項を実施する。細部はその都度示す。					

2.3.2 各食後に清掃する食堂の面積及び食卓・椅子などの数量は表 2 を基準とする。

表 2

幹部食堂			
区 分		面積又は数量	
食 堂		7 6 m ²	9 4 m ²
出 入 り 口		1 8 m ²	
食 卓		1 0 卓	
い す		4 0 脚	
調 味 料 補 充		5 0 個	
食 卓 備 付 品		4 0 個	
備 付 台 布 巾		1 0 枚	

隊員食堂			
区	分	面積又は数量	
食	堂	6 3 0 m ²	6 8 3 m ²
入	口	3 7 m ²	
出	口	1 6 m ²	
食	卓	7 0 卓	
い	す	2 8 0 脚	
調 味 料 補 充		3 5 0 個	
食 卓 備 付 品		7 0 個	
備 付 台 布 巾		7 0 枚	

食器洗浄室			
区 分		面積又は数量	
洗 浄 室		3 6 m ²	4 1 m ²
残 飯 庫		5 m ²	
全 般 容 器		1 0 個	

2.4 作業開始時刻及び終了時刻は，表 3 を基準とする。

表 3

区 分	開始時刻	終了時刻
朝 食 作 業	0 5 時 0 0 分	0 7 時 3 0 分
昼 食 作 業	0 9 時 0 0 分	1 3 時 3 0 分
夕 食 作 業	1 5 時 0 0 分	1 9 時 0 0 分

2.5 その他

作業の内容、作業量、作業開始時刻及び終了時刻については、日々の監督官が作業の都度指示する。

3 監督及び検査

- a) 各作業の実施時間、作業要領などについて監督官から調整を受けた場合は、現場責任者は適切に対応するものとする。
- b) 次の判定基準に基づき監督・検査を受けるものとする。

時期等	項目	判定基準
その日の作業開始時	実施態勢	献立、予定喫食者数及び配置基準等に基づき、業務を履行するに足る作業従事者等が確保されていたか。
	衛生管理	作業従事者等の健康状態の確認、指導及び記録等の衛生管理態勢は確立されていたか。
		業務に必要な衛生用消耗品の準備状況、作業従事者の個人用被服等身だしなみは良好だったか。
朝・昼・夕各食の食器洗浄作業時	食器、食缶等の	官側の指定した要領に基づき、食器、食缶等の洗浄・手入れを行ったか。
	洗浄状況	指定した数量の食器、食缶等を、時間内に洗浄したか。
朝・昼・夕各食の清掃作業時	清掃状況	官側の指定した要領に基づき、食器洗浄室、食卓、椅子及び食卓備付品の清掃を行ったか。
その日の作業終了時	器具・用具等の	官側の指定した要領・頻度に基づき、器具等の洗浄・清掃・格納がなされていたか。
	洗浄状況等	器具等の員数は不足していなかったか。

4 その他の指示

4.1 衛生に関する事項

衛生に関する事項は、次による。

- a) 受託者は、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル（以下、“マニュアル”という。）」に定める調理従事者等の衛生管理に基づき、作業従事者の衛生管理を行うものとする。
- b) 作業従事者に係る食中毒などが発生し、損害賠償が求められるなど官側が損害を被った場合には受託者が官側に対し損害賠償の責任を負う。
- c) 受託者は、官側がマニュアル別紙に示す従業者などの衛生管理点検表の点検項目に不備を確認し、不適格と指示した者は、就業させてはならない。
- d) 作業従事者等の、新型コロナウイルス及びノロウイルスを含む感染症罹患からの復帰に関しては、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）及び感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則（平成10年厚生省令第99号）に基づくとともに、必要な検査費用等は、受託者の負担によるものとする。

4.2 提出書類

受託者が，官側に提出する書類は，表 4 のとおりとする。

表 4—提出書類一覧

提出書類名	提出頻度	提出時期	備 考
作業従事者一覧	年 1 回	業務開始 1 週間前まで	提出後，作業従事者等に変更があればその都度提出する。
作業従事者菌検索 結果	月 1 回 以 上	毎月 20 日ま で（ただし，受 託年度 4 月分 は業務開始の 1 週 間 前 ま で）	1 菌検索結果には，腸管出 血性大腸菌症検査を含め ること。（10 月から 3 月 までの間には月に 1 回以 上又は必要に応じてノロ ウイルスの検査を含める こと。） 2 菌検索実施機関発行の 結果を提出 3 作業従事者等に変更が あればその都度提出する。
作業従事者勤務割 振表 （勤務予定表）	月 1 回	翌月分を前月 25 日まで	1 受託年度 4 月分は業務 開始の 1 週間前まで 2 作業従事者等の変更の 都度提出し，官側の確認を 受けるものとする。
作業完了届	月 1 回	当月分を翌月 1 日まで（休日 の場合は翌週 明け）	

※ 提出時期に間に合わないことが予想された場合，受託者は速やかに官側へ通知し，今後の対応について協議するものとする。

4.3 作業の完了届

作業の完了届は，官側があらかじめ定める期間の終了時に官側の定める様式により行うものとする。

4.4 仕様書に関する事項

受託者は，この仕様書に疑義が生じた場合は，契約担当官と協議するものとする。

令和 8 年度における食数予定及び作業に必要な従事者数の参考値（年間の一例）

年度 月	区分		食数				現場責任者 (人・時)	作業員			作業員 1 人当 たり 食数 $A \div B$
			最大値 (食)	最小値 (食)	平均値 (食)	合計 (食) A		作業人員 (人) B	1 人当たりの 作業時間 (時) C	総作業時間 (人・時) $B \times C$	
7 年度 4 月	平日	朝	216	137	156	3,431	168	19	8	152	180.6
		昼	290	173	184	4,051		82		656	49.4
		夕	190	79	119	2,616		81		648	32.3
		計	—	—	—	10,098		182	—	1,456	—
	休日	朝	100	61	75	671	40	0	8	0	0.0
		昼	56	42	48	430		32		256	13.4
		夕	61	42	51	463		32		256	14.5
		計	—	—	—	1,564		64	—	512	—
7 年度 5 月	平日	朝	191	123	149	2,972	112	20	8	160	148.6
		昼	229	119	178	3,549		81		648	43.8
		夕	176	97	121	2,422		80		640	30.3
		計	—	—	—	8,943		181	—	1,448	—
	休日	朝	76	49	64	699	56	0	8	0	0.0
		昼	64	44	49	540		44		352	12.3
		夕	57	44	49	542		44		352	12.3
		計	—	—	—	1,781		88	—	704	—
7 年度 6 月	平日	朝	227	135	189	3,958	168	21	8	168	188.5
		昼	307	143	239	5,009		89		712	56.3
		夕	227	47	155	3,246		85		680	38.2
		計	—	—	—	12,213		195	—	1,560	—
	休日	朝	95	58	70	629	8	0	8	0	0.0
		昼	85	45	62	556		36		288	15.4
		夕	99	46	64	572		36		288	15.9
		計	—	—	—	1,757		72	—	576	—

月	区分		食数				現場責任者 (人・時)	作業員			作業員1人当 たり 食数 $A \div B$
			最大値 (食)	最小値 (食)	平均値 (食)	合計 (食) A		作業人員 (人) B	1人当たりの 作業時間 (時) C	総作業時間 (人・時) $B \times C$	
7年度 7月	平日	朝	300	181	226	4,965	168	43	8	344	115.5
		昼	323	191	262	5,760		96		768	60.0
		夕	285	105	201	4,423		91		728	48.6
		計	—	—	—	15,148		230	—	1,840	—
	休日	朝	132	100	117	1,053	24	0	8	0	0.0
		昼	70	43	55	495		36		288	13.8
		夕	118	55	76	681		36		288	18.9
		計	—	—	—	2,229		72	—	576	—
7年度 8月	平日	朝	257	43	141	2,957	152	24	8	192	123.2
		昼	302	39	169	3,546		84		672	42.2
		夕	208	39	120	2,511		83		664	30.3
		計	—	—	—	9,014		191	—	1,528	—
	休日	朝	115	47	73	733	40	0	8	0	0.0
		昼	139	36	65	648		51		408	12.7
		夕	99	39	59	594		51		408	11.6
		計	—	—	—	1,975		102	—	816	—
7年度 9月	平日	朝	292	112	195	3,891	152	20	8	160	194.6
		昼	334	119	233	4,652		80		640	58.2
		夕	268	60	180	3,605		77		616	46.8
		計	—	—	—	12,148		177	—	1,416	—
	休日	朝	153	59	98	976	16	0	8	0	0.0
		昼	158	63	103	1,026		40		320	25.7
		夕	135	72	99	994		40		320	24.9
		計	—	—	—	2,996		80	—	640	—

月	区分		食数				現場責任者 (人・時)	作業員			作業員1人当 たり 食数 $A \div B$
			最大値 (食)	最小値 (食)	平均値 (食)	合計 (食) A		作業人員 (人) B	1人当たりの 作業時間 (時) C	総作業時間 (人・時) $B \times C$	
6年度 10月	平日	朝	272	118	202	4,453	160	20	8	160	222.7
		昼	384	114	228	5,011		93		744	53.9
		夕	317	83	177	3,886		75		600	51.8
		計	—	—	—	13,350		188	—	1,504	—
	休日	朝	254	87	179	1,610	16	0	8	0	0.0
		昼	308	76	177	1594		28		224	56.9
		夕	247	74	155	1396		28		224	49.9
		計	—	—	—	4,600		56	—	448	—
6年度 11月	平日	朝	330	112	218	4,234	160	21	8	168	201.6
		昼	337	111	234	4,688		81		648	57.9
		夕	249	97	179	3,575		78		624	45.8
		計	—	—	—	12,497		180	—	1,440	—
	休日	朝	230	85	123	1,228	8	0	8	0	0.0
		昼	162	66	94	938		32		256	29.3
		夕	142	75	93	932		32		256	29.1
		計	—	—	—	3,098		64	—	512	—
6年度 12月	平日	朝	238	153	150	3,293	144	18	8	144	182.9
		昼	298	136	168	3,686		80		640	46.1
		夕	216	135	125	2,754		80		640	34.4
		計	—	—	—	9,733		178	—	1,424	—
	休日	朝	92	75	82	738	8	0	8	0	0.0
		昼	81	65	69	620		28		224	22.1
		夕	77	64	66	630		28		224	22.5
		計	—	—	—	1,988		56	—	448	—

月	区分		食数				現場責任者 (人・時)	作業員			作業員1人当 たり 食数 $A \div B$
			最大値 (食)	最小値 (食)	平均値 (食)	合計 (食) A		作業人員 (人) B	1人当たりの 作業時間 (時) C	総作業時間 (人・時) $B \times C$	
6年度 1月	平日	朝	222	175	169	3,555	168	19	8	152	187.1
		昼	303	197	187	3,933		77		616	51.1
		夕	208	89	137	2,885		84		672	34.3
		計	—	—	—	10,373		180	—	1,440	—
	休日	朝	97	74	84	844	32	0	8	0	0.0
		昼	104	62	74	736		35		280	21.0
		夕	78	62	69	690		39		312	17.7
		計	—	—	—	2,270		74	—	592	—
6年度 2月	平日	朝	243	147	186	3,344	144	18	8	144	185.8
		昼	289	168	217	3,905		73		584	53.5
		夕	233	82	154	2,780		73		584	38.1
		計	—	—	—	10,029		164	—	1,312	—
	休日	朝	136	88	108	1,083	48	0	8	0	0.0
		昼	117	65	85	853		40		320	21.3
		夕	125	72	91	905		40		320	22.6
		計	—	—	—	2,841		80	—	640	—
6年度 3月	平日	朝	220	163	185	3,689	160	20	8	160	184.5
		昼	266	128	208	4,154		81		648	51.3
		夕	203	89	149	2,969		81		648	36.7
		計	—	—	—	10,812		182	—	1,456	—
	休日	朝	118	80	76	838	48	0	8	0	0.0
		昼	88	66	59	653		36		288	18.1
		夕	210	69	75	820		36		288	22.8
		計	—	—	—	2,311		72	—	576	—

玖珠駐屯地幹部・曹士食堂における食器洗浄人員の配置（基準）



主な任務等		人員	総合計
責	現場責任者（全般指示、食器格納兼任）	1	4
流	シンクに溜まった食器等を食器洗浄機へ流し入れ	2	
格	洗浄が完了した食器をカゴに入れ、食器消毒保管庫へ格納	1	

※厨房整備時は、勤務員 5 名を基準とし、細部は、監督官の整備計画による。

「（食器洗浄及び清掃作業）年間を通じて必要となる消耗品のリスト（基準）」

No	使用区分	品 名	備考
1	作業従事者個人用	マスク	
2	作業従事者個人用	個人用被服	帽子、ユニホーム、エプロン、履物等
3	作業従事者個人用	使い捨て手袋	
4	作業従事者個人用	爪ブラシ	
5	食器洗浄用	スポンジたわし	
6	食器洗浄用	中性洗剤、弱アルカリ性洗剤	
7	食器洗浄用	クレンザー	
8	食器洗浄用	油用食器洗剤	
9	食器洗浄用	除菌漂白剤	
10	食器洗浄器具清掃用	食器洗浄器用洗剤	
11	食器洗浄器具・卓上清掃用	消毒用アルコール	洗浄後消毒及び食卓・卓上品・椅子消毒
12	卓上清掃用	タオル、布巾	
13	卓上清掃用	洗濯用洗剤	タオル及び布巾用
14	食堂・食器洗浄室清掃用	ほうき	
15	食堂・食器洗浄室清掃用	デッキブラシ	
16	食堂・食器洗浄室清掃用	バケツ	
17	食堂・食器洗浄室清掃用	水切り	
18	食堂・食器洗浄室清掃用	モップ	
19	官民共用	アルコール消毒液	厨房入口、トイレ等
20	官民共用	手洗い石鹼液	厨房入口、トイレ等
21	官民共用	ペーパータオル	厨房入口、トイレ等
22	官民共用	トイレットペーパー	トイレ等

※19 から 22 は官民共用となるため、作業従事者数を基準とし、官と要調整